

## 森の声キャンプ

## 1. 参加者

募集人数	応募者数	参加決定数	参加者数
30	8	8	8 (3家族)

(募集対象)

小学生とその保護者 30名

※兄弟姉妹関係で、幼児のお子様がいるときはご相談として募集をかけた。

## 2. 事業内容 (概要)

## ◆ねらい

- ・若狭湾の自然の中で思いっきり活動することを通して、自然の素晴らしさを味わい、自然への興味や理解を深められるようにすると共に、自然に対する豊かな感受性や環境に対する関心等を培う。
- ・親子で一緒に自然体験活動を行うことで、活動中や家庭での親子の会話する機会やコミュニケーションが増えるようにする。

## ◆期日・期間

令和元年11月16日(土)～11月17日(日)【1泊2日】

## ◆連携機関

福井県教育委員会、小浜市農林水産課、小浜市里山創造協議会

## ◆参加者分析

募集期間は、10月18～11月1日の15日間としたが、募集の締め切り時点で、参加希望家族が1家族しかなく、募集期間を11月11日までと10日間延長した。募集対象は、小学生とその保護者としたが、実際に集まった家族は、中学生とその保護者、幼児とその保護者、小学生・幼児の兄弟とその保護者となり、想定通りではなかった。滋賀県からの参加者家族は、若狭湾の事業積極的に参加をしている家族であること。京都からの参加者は、過去に若狭湾の事業に参加したことがある家族であること。福井からの家族は、本施設の職員であることから、新規の参加者はゼロであった。

(参加者の内訳は、表1と表2を参照。)

表1. 応募家族及び参加家族の詳細

府県	京都		滋賀		福井	
	あり	なし	あり	なし	あり	なし
応募家族数	1		1		1	
参加家族数	1		1		1	
当施設の事業参加経験家族数	1	0	1	0	0	1

表2. 参加者の詳細 (年齢と男女)

	3歳以下	4歳児	小学生	中学生	保護者	合計
男	0	1	0	0	3	4
女	1	0	1	1	1	4
合計	1	1	1	1	3	8

◆日 程

※少雨決行

(受付：10：00～ 開会式：10：30 / 解散：13：30)

11月16日 (土)	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
	受付開始	開会式 アイスブレイク	昼食(食堂)		① 間伐体験	② 焼き芋体験	③ チップ作り		入浴	夕食(食堂)	④ クリスマスリース作り	就寝
11月17日 (日)	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
	起床	朝のつどい	朝食(食堂)	⑤ チップ道	⑥ ハイキング	昼食(食堂)	閉会式	解散				

○企画のポイント (日程・特色など)

・広報について

普段広報している学校には広報せず、地域の道の駅や公共の施設などにチラシの設置を行った。また、福井県 Web 情報サイト「まなびいねっと」、滋賀県 Web 情報サイト「におネット」、愛知県 Web 情報サイト「まなびいねっとあいち」に情報を掲載した。

・日程とプログラムについて

昨年度より1ヶ月早く「森の声キャンプ」を実施した。ESD の視点を取り入れ、秋の自然を楽しみながら、海と密接につながる森の役割や里山の保全などについても考えるキャンプとした。小浜市農林水産課、小浜市里山創造協議会の方から、人が恵みを楽しんできた里山の成り立ちや役割、その手入れをなぜ行うのか、などについて話を聞く場面を設定するとともに、植林された杉の間伐の様子を見学するプログラムを盛り込んだ。間伐材の再利用として、大型機械を用いてチップにして、ハイキングコースの一部にチップロードを作ることを計画した。

◆運営のポイント

担当職員がそれぞれ役割分担を行い、事故や怪我もなくスムーズにプログラムが進んだ。また、事業当日は担当職員が自主的に判断し、臨機応変に対処することができていた。

◆安全管理について

3. アンケート結果

<参加者>

割合		とてもよい	よい	あまりよくない	よくない	単位：%
NO	項目	4	3	2	1	計
1	全体の感想	80	20	0	0	100
2	事業の進め方	60	40	0	0	100
3	自然の家のスタッフ	80	20	0	0	100
4	ハイキング	60	40	0	0	100
5	間伐体験、チップ作り	60	20	20	0	100
6	焼き芋体験	80	20	0	0	100

アンケート記載内容

1	全体の感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象を中学生もOKと書いてもらえると嬉しいです</li> <li>・みんなと仲良くできて楽しかった</li> </ul>
2	事業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・のんびりでできて良いです</li> <li>・ゆっくり、子どものペースで進めていただけて良かったです</li> </ul>
3	自然の家のスタッフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも通り良くしてもらいました</li> <li>・優しく接してくれた</li> <li>・小さい子にも丁寧に相手してもらえて良かったです</li> </ul>
4	ハイキング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にはちょうど良い</li> <li>・遠い道のりで、子どもがついていけるか心配でしたが、楽しそうに歩いて良かったです</li> </ul>
5	間伐体験、チップ作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し大きいチップかと思った</li> <li>・初めて間伐を見て、感動しました</li> </ul>
6	焼き芋体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落葉でやりたかった</li> <li>・楽しかったし、美味しかった</li> <li>・美味しかった</li> </ul>

4. 成果と課題

- ・11月第三週の土日は、学校や地域の活動が多くあり、参加者の募集に苦労した面があった。また、広報については、学校に配付していないこともあり、事業開催の周知徹底が弱かったのも否めない。次年度以降、周辺の学校の予定や地域の活動日も鑑み、事業日設定を行うとよいと感じた。
- ・持続可能な社会づくりの担い手を育む教育の観点に立ち、連携機関とプログラムを吟味し、最大限の協力を得て実施した本事業は、一定の価値があると考えられる。農林水産のとりわけ、農林に目を向け、人が生きるために必要な木材を生産すること。農林に携わる社会的意味や価値を学び、またそこに見え隠れする課題に触れるきっかけを提案する事業であった。また、間伐の再利用にも触れることで、今後の新たな価値づくりのしなやかな作りが出来たと考えられる。ただ、本事業のESDの視点は、幼児や低学年児童には難しく、直接的な興味を引くことは難しい。この年代は、森の中で遊ぶ事業がふさわしいとも思っている。そのバランスが大変難しくも感じている。

5. 活動の様子 写真（数枚）

